

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	黒岩・宮川
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3425
事務事業名	4187 観光施設整備事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	05042700 観光資源の活用											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	030000 観光施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、施設の整備を行う。						遊歩道の整備及び観光案内看板設置により、観光客の安全快適性を保護する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
観光案内看板設置工事 米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原テニスコート整備事業補助金	観光案内看板設置工事 米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原クロスカントリーコース増設のための測量・設計
平成29年度 実績	平成30年度 実績
米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原クロスカントリーコース走路増設工事 湯っ蔵んど防災備蓄倉庫設置工事 市営駐車場発券機・精算機購入	米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原クロスカントリーコース走路増設工事（繰越/工事費123,269千円） 須坂温泉古城荘拠点整備負担金（設計・工事）（繰越/負担金65,750千円）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
米子大瀑布遊歩道整備 須坂温泉古城荘指定避難所耐震補強等工事負担金 指定避難所整備負担金（設計）（繰越）	米子大瀑布遊歩道整備 指定避難所（須坂温泉古城荘）耐震補強等工事負担金

指標名	山間部での遊歩道の整備不足による事故件数				
算式	米子遊歩道整備不足による事故件数				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標		0	0	0
	実績		0	0	
指標選定の理由	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。				
最終年度目標の根拠	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		76,344	156,770
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	73,400	138,100
	その他	1,000	10,000
一般財源	1,944	8,670	
人員数(人)	正規職員	0.7	0.7
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,085.5	5,085.5
	嘱託職員	565.8	565.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,651.3	5,651.3
市民一人当たりの経費	1.6	3.1	
総額	81,995.3	162,421.3	

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,904	米子大瀑布遊歩道整備工事2,904
19節 負担金補助及び交付金	73,440	指定避難所(須坂温泉古城荘)負担金73,440
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	4,500	米子大瀑布登山道等災害復旧測量設計4,500
14節 工事請負費	14,110	観光案内看板設置工事800、米子大瀑布整備工事13,310
18節 負担金補助及び交付金	138,160	指定避難所（須坂温泉古城荘）整備負担金84,640
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道等の整備は、観光客の安全の確保及び利便性の向上に寄与する。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の安全の確保及び利便性の向上に寄与している。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の安全の確保及び利便性の向上に寄与している。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道等の整備により、観光客の安全の確保及び利便性の向上が図られた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

観光施設の安全対策と利便性の向上を図り、来訪客が快適に過ごしていただくためにも必要な施策である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

観光客の誘導、回遊を促進し、観光振興を図るために有効な施策である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--